

歴代編集長のメッセージ

http://www.wing-journal.com/

(うめみ みちこ)

沼沼 ミチ子さん
Vol.2~3 (1994~1995)



当時、「婦人」から「女性」と表現する様になった頃で、「男女共同参画情報紙」の紙名を「Wing」と新しくした時の編集長をさせて頂きました。

あるのは情熱のみで能力はなく、編集に参加されたら若い方々の努力で創刊号を発行出来、感謝!と感激でした。

(しのはら ひさこ)

篠原 房子さん
Vol.8~11 (1997~1999)



「安心と生き甲斐」をテーマに、身近な高齢化対策などを取り上げ、表紙は誰もが参加で大勢の人が写っている写真を用いました。

回覧版での回覧などで少しでも人の目に触れるの意義に訴える工夫をしました。

(とみた たけこ)

富田 武子さん
Vol.16~19 (2001~2003)



私が編集に携わったのはあまり耳慣れない男女共同参画という言葉が聞かれ始めた頃で、自らの意識の改革と闘いながら仕事をさせて頂きました。2年間のお手伝いでしたが、その間紙や青森で行われた全国男女共同参画大会にも参加して男女共生意識の向上を求

める熱気を体験しました。現在の日本社会は男女共生意識がより浸透していると思います。若い人達がお互いの両性を尊重し、それぞれの特性を伸ばさせて次世代を育成するよう情報紙の益々の発展を期待しております。

(いとう ゆきかず)

伊藤 行和さん
Vol.24~27 (2005~2007)



2005年に市男女共同参画センターがオープンした年に第24号から27号の編集を担当しました。当初はセンターの機能と役割を市民にどう

伝えるか、また「男女共同参画社会」とは、どんな未来社会を目指すしているのか等について、編集委員一同で理解を深めながら、編集に努めたことが印象に残っています。

(すずき ゆきお)

鈴木 幸男さん
Vol.36~42 (2007~2009)



「Wing」Vol.50の発行をお祝い申し上げます。インタビューや取材で東京部(Vol.28)、広島市(Vol.29)、富山市(Vol.31)に行ったことが思い出の一つです。Vol.29<行>

に関して、敬謝をたたかわしたことも思い出されます。

(やはぎ すみえ)

矢作 すみ枝さん
Vol.32~35 (2009~2011)



34号の市長インタビューがきっかけで発行部数が増え、回覧で周知できるようになりました。目標は全戸配布でしたが、まずは一歩前進だと編集委員みんなで意欲の思い出しです。また、アオソスでの「第9回福島県いわき市男女共生のついで」には、編集委員一同が応

答つてに参加させて頂いて、とても充実した32号ができました。忙しかたはあれども、これも楽しんでいたのですね。[Wing50号]発行にあり、共同参画への理解がより一層深まっていきますよう陰ながら応援しています。

(なかの りえ)

中野 理恵さん
Vol.36~42 (2012~2015)



働くことは、「傍を楽にすること」と気付けたことから始まり、様々な色や個性を持つ人との出会いにより、デザイナーとして自分自身が変化し、母として強く成長できた実感があります。また、「Wing」での様々な取材やフ

ォンへの海外視察などにより、視野が広がり、意識の改革の大切さがわかりました。「出会えたすべての人のおかげで今この私がいる」という感謝の気持ちでいっぱいです。

(まつもと まいこ)

松本 麻衣子さん
Vol.43~46 (2015~2017)



男女共同参画の考え方を、記事編集することで、深く理解することができました。また、色々な方々の方(編集委員)と知り合えて、刺激をたくさん頂きました。育児休業を取得し

た男性が勤務する企業に取材に行ったことがありましたが、相手の方に気持ちよく話してもらったのが質問方法など大変勉強になりました。

(いとう ゆきえ)

伊藤 幸恵さん
Vol.47~50 (2017~2019)



36号~42号の編集委員、47号~50号の編集長として「Wing」に携わりました。文章を書くのが大好きで、編集委員やセンターの方々と協力しながら楽しく活動させて頂き

ました。取材などで頂いた珠玉の言葉を要約する作業が大変ですが、とてもやりがいがあり幸せです。関係者の皆様にお世話になり、心から感謝しています。

いわき市男女共同参画情報紙「Wing」は、公募による編集委員で協力して作成してきました。歴代の編集長より50号記念として寄せられたメッセージをご紹介します。

LGBT?

『多様な人間の性のあり方』について知りましょう!



人間の性別は、男と女だけではなく、みんな顔や性格が違うように、多様性を持っています。誰もが自分らしく生まれ育つ社会になるよう、差別や偏見の解消のために、「LGBT」などの性の多様性について正しく理解しましょう!

「性」に関する3つの要素

自分自身が自分の性別をどう捉えているのかということ。

心の性
(性自認)
自分の認識する性別

恋愛感情や性的な関心などの性別に向いているかという点で、異性が好きか、同性が好きか、両方の性が好きか、あるいは誰に対しても恋愛感情を抱かない、などがある。

身体的な特徴(性器)や性染色体等によって客観的に判断される性別。

身体の性
生物学的な性別

好きになる性
(性的傾向)
自分が惹かれる性別

LGBTとは?

L=レズビアン(女性同性愛者)、G=ゲイ(男性同性愛者)、B=バイセクシャル(両性愛者)、T=トランスジェンダー(身体の性に違和感を持つ人)の頭文字をつなげた略語で、LGBTを含めた性的少数者(セクシャルマイノリティ)の総称として使われることが多いです。

<p>①レズビアン Lesbian (女性の同性愛者)</p> <p>身体と心の性が「女性」で、恋愛対象も「女性」</p>	<p>⑥ゲイ Gay (男性の同性愛者)</p> <p>身体と心の性が「男性」で、恋愛対象も「男性」</p>
<p>⑧バイセクシャル Bisexual (両性愛者)</p> <p>身体と心の性が「女性」 恋愛対象は女性と男性の両方</p>	<p>⑩トランスジェンダー Transgender (身体の性・心の性が一致しない人)</p> <p>身体の性が「女性」で 身体は男性になりたいたいの心が「男性」 恋愛対象は、人それぞれ(異性・同性・両性)</p>

※全ての性的少数者がLGBTに分類される訳ではありません。LGBT以外にも、男も女どちらも恋愛感情を抱かない人や、自分自身の性を決められない・分かんない人など、さまざまな人々がいます。

レインボーフラッグ
6色のレインボーカラーは性の多様性を表し、「LGBT」のシンボルとなっている。

日本人の約11人に1人がLGBT層
全国で8.9%が性的少数者で、左利きの人の割合とほぼ同じ。
※2018年電話ダイバーシティ・ラボの調査より

SOGI (ソジ・ソギ)とは?

国連などの国際機関では、「性的指向 Sexual Orientation」、「性自認 Gender Identity」の頭文字を取ったSOGIという言葉が使われています。これは、LGBTよりも広く性の多様性を考える概念です。LGBTの私たちを特別視するのではなく、個人のあるべき性的指向や性自認を尊重するという考え方で。

アライ(Ally)になりませんか?

「アライ」とは、「同盟者」や「支援者」を意味する英語です。LGBTなどの性的少数者を理解し支援するという考え方やその考え方を持つ人を指すことばとして使われています。「アライ」が増えれば「性的少数者」も生きやすい社会の実現に繋がります。

LGBTなどとの相談窓口の紹介

- よりそいホットライン(福島・宮城・岩手専用) 0120-279-226(ガイダンス後・希望を選別)2時間・通話料無料
- レインボー・ホットライン 0120-51-9181(毎週月曜 19~22時・通話料無料)